

# ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2008年12月

## コミッティ活動

### **Accounting:** 担当森田([tmorita@isda.org](mailto:tmorita@isda.org))

12月18日、Japan Accounting Committeeの初回会合を受け、企業会計基準委員会(ASBJ)と日本公認会計士協会(JICPA)を提出先とするドラフトレターが、コミッティメンバーに回覧された。ドラフトレターの内容は以下の三点。1)ヘッジ会計における、ヘッジ有効性の判定。2)包括的長期為替予約(クーポンスワップ)に対する、ヘッジ会計の適用。3)ガイドライン中のヘッジ会計における設例の充実。

### **Regulatory** 担当森田([tmorita@isda.org](mailto:tmorita@isda.org))

12月2日、ISDAは本邦金融庁丸山審議官と会合を行い、情報交換と9月以降に発生したマーケットイベントについての検討を行った。

20人を超える金融庁幹部職員に対し、ISDAによるCDSオークションプロトコルについてのブリーフィングセッションが行われ、ISDA General CounselのDavid GeenがCDSオークションの手続き、スケジュール、最終価格の決定方法についての説明を行った。このセッションでは、定義集にCDSプロトコルを組み込む手続きについても討議された。

### **Operations:** 担当難波([knamba@isda.org](mailto:knamba@isda.org))

12月2日と9日の両日、Japan Operations Credit Derivativesワーキンググループのメンバーは、日本銘柄を参照とするCDSのCalculation Agent City(CAC)の統一化をめぐるCalculation Agentワーキンググループによる第二/三回の電話会議に参加した。出席者の多数が、CACを「ロンドン」としている変更前の取引をプロトコルや相対の修正契約書に従い「東京」に修正することに同意した。プロトコルと相対の修正契約書雛型のドラフトはISDAが作成し、関係者に回覧する予定。

Japan Operations Committeeは12月3日、日本における電子コンファメーション・プラットフォームの利用促進をテーマとする会議を開催した。当日はDTCC DerivSERVが提供しているシステムについて、同社担当者によるプレゼンテーションが行われ、またMarkitWireとDTCCとのジョイントベンチャーで計画中のサービスの現状についてMarkitWireの担当者からアップデートがあった。

12月19日、ISDAは東京証券取引所、日本証券クリアリング機構並びに証券保管振替機構による「OTCデリバティブのポストトレード処理の整備に関する研究会」の第4回会合に参加した。

### **Credit Derivatives:** 担当難波([knamba@isda.org](mailto:knamba@isda.org))

12月1日、Japan CDS Auctionワーキンググループのメンバーを対象に、auction hardwiringワーキンググループで議論されている内容のアップデートがISDAのGeneral CounselであるDavid Geenによる行われ、参加メンバーは新しいシステムの導入により日本市場が受ける影響について議論をした。

Japan Credit Derivatives Committeeの有志メンバーにより、CDSに関するQ&AをISDAのウェブサイトと東京金融取引所のJ-CDSのページに掲載するための準備が開始された。掲載の目的は、日本におけるCDSビジネスの正確な理解を促進すること。

**Equity Derivatives:** 担当難波([knamba@isda.org](mailto:knamba@isda.org))

12月11日、Japan Variance Swap ワーキンググループは、個別株の Variance Swap について、ストップ高・ストップ安による Trading Disruption Event がいかなる場合に material と判断され Market Disruption Event を構成するかについて、コンセンサス作りのための電話会議を行った。会議中には合意が得られなかったため、メンバーはそれぞれの会社で適用している判断基準を ISDA に提出することとし、次回以降の会議で、それらをもとに検討を続けることに同意した。次回会議は 2009 年の早い時期に行うことを予定。

**SERVEY:**

ISDA は 2008 年度の ISDA コミッティ活動に関するアンケート調査をコミッティメンバーあてに 12 月 15 日に送付。回答期限は 2009 年 1 月 9 日。

**コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定**

<b>CDS Q&amp;A Working Group</b> (日本語による会合)	<b>1 月 15 日</b>
<b>Risk Management /Operations Committee</b> (日本語と英語による会合)	<b>1 月 16 日</b>